

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 加賀爪 片岡 大江 早船 西山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		11	1		12

前回の改善計画

ご利用者ご家族のニーズに対応できるように、カンファレンス等で情報を共有し、初期支援をスムーズに行えるようにする。初回のサービス提供後、ご利用者ご家族様にサービス内容の振り返りを行い、次のサービス提供に活かす。

前回の改善計画に対する取組み結果

新規依頼から即日サービスが提供できるように、職員一同情報を共有し、取り組むことができている。サービス提供開始後も、ご利用の様子を踏まえながら、サービス内容の修正ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	10	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4	7	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	5	7			12
③	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	7	1		12

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用前の情報はみんなで共有できている
- ・利用が始まってからも、本人・ご自宅の様子から必要な支援があれば、柔軟に対応できている
- ・ご利用者のニーズに合わせた支援を行えるように意識できている。
- ・言葉かけには丁寧に向き合い、安心して過ごせる場と感じられるように工夫している
- ・医療機関からの情報を理解し、伝えることが難しいかもしれないご本人の意志や要望をできるだけ取り組めるように努めている。
- ・乗降介助や買い物支援を工夫している
- ・訪問時や通い時にコミュニケーションを図っている。日常生活が継続できるように支援することができている。
- ・訪問シート・カンファレンスノートで情報共有や変化点を話し合って支援している。
- ・事前の情報で利用者様の ADL や家族構成など確認。OJT を行っている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

通いを拒否される利用者への支援では、信頼関係の構築に時間を要し、不安の背景を十分に把握できないことがある。また、事前情報だけでは理解が不十分な場合も多く、ご本人への対応に集中するあまり、ご家族への配慮が行き届かない場面もある。生活スタイルや希望に寄り添う支援を心がけているが、事業所として対応できない内容もあり、家族との関係が希薄な場合は調整に時間を要する。スタッフが訪問に出ている時間が多く、カンファレンスの機会が限られることも課題である。より良い支援のためには、情報共有の強化と地域・家族との連携の充実が求められている。

次回までの具体的な改善計画

（200 字以内）

引き続き、ご利用者ご家族のニーズに対応できるように、カンファレンス等で情報を共有し、初期支援をスムーズに行えるようにする。初回のサービス提供後、ご利用者ご家族様にサービス内容の振り返りを行い、次のサービス提供に活かす。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月4日（14：45～15：15）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	加賀爪 片岡 大江 早船 西山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	7	4		12

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・通い時の様子をご家族へ伝えられるように、連絡ノートの作成内容について統一する。 ・個別ケアなどの取り組みについて、担当しているスタッフが不在時でも活動できるように引継ぎを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・通い時の個別的な取り組みは、担当しているスタッフが不在でも、申し送りにて他スタッフも活動できるようになった。連絡ノートは、日中の活動された内容・入浴や食事等の様子、体調面などの記載を中心に作成している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		6	6		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8	4		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		7	5		12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	5	6		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・実践した内容はカンファノートで確認できている ・ご本人の思いを大切にしたい関わり方ができていると思う。ご本人に意見を聞くようにしている。 ・ご利用者それぞれの得意分野での作業をしていただいております、退屈な場面は減少している。担当者不在でも、他職員がカバーしてくれている。 ・その日のご利用者の体調の変化やケアの内容等を連絡ノートで報告している。 ・ご自宅で暮らし続けてもらうために、その生活を維持できるようにしている。 ・通いを通じて、ご利用者同士が挨拶されるなど、顔なじみになっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の目標・聞き取りが十分でなく、関わりも不十分 <p>みんなで話し合う時間がなく、次の対応に活かすことができていない。変わりばえしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標をすべて把握できているわけではなく忘れてしまっている。本当の想いを聴けているか心配になることもある。関わり始めに目標を見るようにしているが、見返す習慣がついておらず忘れることがある。 ・他の職員に、ご利用者が何をされていたのか聞き取りができていない。連絡ノートの作成では、細かいところまで書けていない。個別ケアも満足ではない。 ・時間や人手がいないと、「～したい」ができない。またルール上、ご利用者のしたいことができない。 ・一人一人にあった機能訓練ができていない。 ・個人の見解の相違、利用者様と話せていないなど、連絡ノート作成内容が統一できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・ご利用者一人ひとりの「～したい」の取り組みについて、毎月の小規模会議に挙げて、取り組んでいく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 9 日 (14 : 15～15 : 45)
3. 日常生活の支援	メンバー	加賀爪 片岡 鈴鹿 西川 早船 森野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？		7	2	3	12

前回の改善計画	聞き取りシートの見直しを行い、ご利用者一人ひとりの暮らし方を把握する。 引き続きご利用者ご家族の意向や体調不良時など、早期対応できるようにその都度共有化を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々ご利用者の状態を観察把握し、体調不良等の変化に対して、スタッフ一同共有しながら、対応することができている。聞き取りシートの活用が不十分のため、以前の暮らしを 10 個以上把握することができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		4	5	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	6			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	3	7	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	6	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	3	3		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のその日その日の様子を観察し、変化があれば情報を共有し、必要な対応ができている ・気づいたことを共有するようにしている。共有されたことはすぐに一人一人の支援や声掛けに取り込む ・いつもと違った様子など、気づいたら、他職員と共有し、CM に報告している ・訪問時には、こちらから内容を提案し、サービスを提供している。ご利用者の状態に合わせて、食事を提供している。 ・ご本人の状況に応じた介助を行うことができている ・カンファノートを活用し、食事や排泄から体調を観察している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者の生活歴や地域での様子を十分に把握することが難しい場面があり、聞き取りや情報収集の精度向上が課題となっている。言語化が難しい思いを受け止める際には、経験の浅さから対応に迷うこともあるが、先輩職員と連携しながら理解を深めている。聞き取りシートの活用は現在取り組みを進めている段階であり、訪問時には限られた時間の中で丁寧な支援を心がけている。また、室温管理や入所相談など、生活全般の支援にも継続して取り組んでいる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>引き続きご利用者ご家族の意向や体調不良時など、早期対応できるようにその都度共有化を図る。カンファレンスにて、ご利用者等からその日聞き取った情報を共有する。聞き取りシートにも、聞き取った情報を記載し、情報を共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月9日（14：15～15：45）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	加賀爪 片岡 鈴鹿 西川 早船 森野

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	6	4	1	12

前回の改善計画	地域の協力を得ながら、ご自宅で暮らし続けることができるように支援する。 個別ケアを通じて、地域資源を活用し、～したいの実現を図る。町内の組織を把握する。 地域資源や民生員について、役割を把握する
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源を活用しながら、ご利用者の日常生活を支えることができている。しかし、一部のスタッフを除いて民生委員等の把握には至っていない。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		10	2		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れな いように支援していますか？		9	3		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がど のように過ごしているか把握していますか？		7	4	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の 資源等を把握していますか？		3	7	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者の生活歴や人となりについて、ご本人への聞き取りやご家族・地域の方との情報共有を通じて把握に努めている。近隣住民や管理人とも積極的に挨拶や声かけを行い、地域との関係性を保ちながら、行事参加やボランティア支援などにつなげている。ご本人が大切にしてきた生き方を尊重し、要望に応じた支援を心がけているほか、行事用の花の購入など地域資源も活用している。ケアマネジャーや家族への報告・連絡も適切に行い、関係が途切れないよう継続的に支援している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域との関わりが限られる中で、利用者の在宅時の様子や生活状況をどこまで把握すべきか迷う場面がある。民生委員や後見人と接点を持ってないことも多く、地域資源の把握や活用方法について十分に理解できていない利用者もいる。独居の方は地域とのつながりが少なく、支援の必要性を判断しにくいことも課題である。プライバシーに配慮しつつ、ふれあい収集など活用できる資源は利用しているが、地域の役割分担や協働のあり方を探る難しさを感じている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源等を活用し、ご自宅で暮らし続けることができるように支援する ・ 近隣の方々と関係を構築し、ご利用者の生活支援に繋げる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月9日（14：15～15：45）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	加賀爪 片岡 鈴鹿 西川 早船 森野

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	10			12

前回の改善計画	ご利用者のニーズに対して、各関係者や社会資源を活用し、柔軟なサービス提供を通じて、住み慣れた自宅で暮らし続けることができるようにする。カンファレンスを通じて、ご本人様の变化に応じた対応ができるように常時取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々ご利用者の状態を観察把握し、体調不良等の変化に対して、「通い」「訪問」を柔軟に変更し、対応することができている。「宿泊」については、ご利用希望者がいないため、利用に至っていない。自事業所だけでなく、各関係者や地域資源を活用し、日常生活を支援することができている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	8	2		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	5	2	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	7			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	7	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状態により、サービスを調整し、様々な機関と連携していると思う。 ・日々の気持ちの変化や体調など、細かに対応できている ・体調不良に気づけば、共有報告し、往診や訪問回数を増やす等、状況に応じて柔軟な対応がとれている。 ・いつもと違った様子があれば、CMや看護師にすぐ報告し、カンファノートにて共有している ・ご利用者の状態に合わせた介助ができている ・その時の状況に応じて訪問から通い・通いから訪問に変更したり、臨時訪問にしたりと出来ている。 ・事業所で出来ない事は、他の事業所の情報を紹介している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員は限られた勤務日数の中で利用者の変化に気づけるよう情報共有を行い、来所が難しい方には意志を尊重しながら支援方法を検討している。限られた職員数のなか、宿泊サービスの代わりに訪問回数の調整や食事提供の工夫を行い、精神的に不安定な方への電話対応にも努めている。一方で、地域資源の活用や外部支援との連携、定期的なミーティング体制の整備など、今後の課題も認識している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
<p>引き続き、ご利用者のニーズに対して、各関係者や社会資源を活用し、柔軟なサービス提供を通じて、住み慣れた自宅で暮らし続けることができるようにする。カンファレンスを通じて、ご本人様の变化に応じた対応ができるように常時取り組む。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月9日(14:15～15:45)
6. 連携・協働	メンバー	加賀爪 片岡 鈴鹿 西川 早船 森野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5	5	2	12

前回の改善計画	地域の会議イベント等の参加機会を前年度より他スタッフにも設ける。 事業所として、関係機関と連携・協働ができるように、スタッフ協働で活動を継続する
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担をしているため、すべてのスタッフがサービス担当者会議等に参加することができていない。 ・地域の防災訓練や体育祭、ふくし祭りへの参加は継続してできているが、スタッフ全員の参加までには至っていない。児童館や障害福祉の方々との交流を定期的に行うこともできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	1	1	9	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1			12	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	2		8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	3	2	6	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・学童やなずなカフェに来て頂いて交流ができた ・地域の人との関わる機会が設けられており、多世代交流は多いイメージがある。 ・消防訓練、救命救急、地域の防災訓練に参加している。 ・地域の運動会に参加している ・発注業務 ・医療機関、訪看、福祉用具等、利用できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・会議等には参加していない。参加する立場にない。 ・出勤日とイベントの日程が合わないため、参加することができなかった。 ・他の業種との会議には機会がないため、参加できていない。 ・新規ご利用者との面談で、他の機関の担当者と話しをする程度で、その他の会議には参加することはない。 ・他のサービス機関と会議はないが、連絡相談を行い、共有はできている。 ・会議はCMが主に出席しているため、CWではわからないことがある ・会議に参加したとしても、地域の問題を把握できていないため、問題を消化出来ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、地域の会議イベント等の参加を継続していく。 事業所として、関係機関と連携・協働ができるように、スタッフ協働で活動を継続する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月9日（14：15～15：45）
7. 運営	メンバー	加賀爪 片岡 鈴鹿 西川 早船 森野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		6	2	4	12

前回の改善計画	運営推進会議などを通じて、地域と協働した取り組みを行い、地域に貢献できる活動を継続して取り組んでいく。取り組みする内容はスタッフ内で共有し、一部スタッフだけの活動にならないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・自事業所にて、児童館や障害福祉の方々と交流する機会を設けている。また雑巾の寄付先も増加しており、地域へ貢献することができている。毎月のフロア会議にて、みんなで話し合い、毎月目標を立てて取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	2	2	6	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		9	2	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6	1	5	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2	3	2	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や意見は共有し、改善策を考えることができている。 ・雑巾寄付など地域に貢献・協力できる活動ができている。周囲の方の意見はしっかりと聞き、すぐに反映するようにしている。 ・ご利用者や周囲の方々の意見や感想をスタッフと共有したり、事業所に進言したりしている ・作品展示に出品できるよう、ご利用者と共に努めており、他の職員からのアドバイスも参考にしている。 ・出張カフェを通して、ご利用者の楽しめと共に、障害福祉の方々と貴重な交流の場となっている。 ・地域の方々に挨拶やお礼など、コミュニケーションを取っている。 ・誕生日レクで購入する花や行事おやつ、買い物支援など、地域資源を活用している。 ・利用者・家族・地域の方の苦情を聞いた時は上司にすぐ報告し共有している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のあり方について、発言する場がない。 ・事業所全体について考えることはあまりない。会議に参加することが少ないため。 ・貴施設をもっと知ってもらい、地域交流の場となるための発信を今以上に行えるように考えていく。 ・どんな取り組みがあるか理解していないため、積極的には協働した取り組みに参加できていない ・勤務時間と合わないため、運営推進会議には参加できていない ・ご利用者やご家族に苦情等を承っていない。地域住民と交流する機会がない。 ・運営推進会議に参加できていない。 ・訪問送迎が主なため、地域との取り組みに直接関わっていない。 ・地域との協働へ取り組みについて、取り組む内容によっては準備から保管まで継続する必要がある。感染症が広がると、止まってしまう可能性がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のフロア会議にて、事業所の目標を設定し、課題等に取り組んでいく。 ・運営推進会議などを通じて、地域と協働した取り組みを行い、地域に貢献できる活動を継続して取り組んでいく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月9日(14:15~15:45)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	加賀爪 片岡 鈴鹿 西川 早船 森野

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	5		12

前回の改善計画	リスクマネジメントについて、ヒヤリハットを活用し、スタッフ一同協力し合いながら、未然に事故を防いでいく。事業場内の研修等の機会を設け、スキルの向上を目指す。カンファレンスにて、ヒヤリハットなどの注意点を確認し、周知徹底にいたる
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年に比べて、事故の件数を減らすことができている。毎月、勉強会を実施しており、ご利用者とコミュニケーションが取りやすくなった。また医療の関する知識も向上し、バイタルや排泄の状態も含めて、ケアができるようになってきている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	4	2	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	7	1	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	1		2	9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの情報共有や研修の参加ができている。リスクマネジメントについて、自分のこととして積極的に考えるようにしている。 ・勉強会等で、リスクマネジメントに取り組んでおり、重大な事故に至らないよう職員共々、常に意識して支援している。 ・資格取得に向けた取り組みや研修に参加している ・ご利用者の状況に応じて、リスクの少ない介助方法を選択している ・事故等が起こらないように、前もって話し合いをしているため、未然に防ぐことができている ・事故委員会を定期的に関き話し合っている。ヒヤリハットを活用している。 ・時間内に終わられる様、研修を動画で見るとなど配慮していただいている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得やスキルアップのための研修は参加していない。機会がない。 ・地域連絡会への参加。機会がないため、参加できていない。 ・事故やヒヤリハットが起こってから、考えることが多く、リスクマネジメントの意識が低い。 ・誤嚥による窒息や意識消失等その場に居合わせた時、知識はあっても冷静に対処できるか不安がある。 ・次のことを考えながら動いているため、不注意が多い ・働き出して、短い時間、まだできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、リスクマネジメントについて、ヒヤリハットを活用し、スタッフ一同協力し合いながら、未然に事故を防いでいく。事業場内の研修等の機会を設け、スキルの向上を目指す。カンファレンスにて、ヒヤリハットなどの注意点を確認し、周知徹底にいたる	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月9日（14：15～15：45）
9. 人権・プライバシー	メンバー	加賀爪 片岡 鈴鹿 西川 早船 森野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		10	1	1	12

前回の改善計画	日常生活の支援を通じて、ご利用者の生活実態を把握し、ご利用者の生活状況の変化があった場合は成年後見制度の活用の有無を検討する。虐待身体拘束について、事業所内で発生しないようにスタッフ一同取り組んでいく。事業所内でご利用中の方にスタッフ間の話が聞こえないように場所や声量に注意する。
前回の改善計画に対する取組み結果	人権や不適切なケア防止の研修等を通じて、スタッフ一同、人権侵害にならないように、常に意識して行動することができている。事業所内で、スタッフ同士が打合せ等で会話する際に、声量や場所に配慮できていない時があるため、引き続き注意する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12				12
②	虐待は行われていない	12				12
③	プライバシーが守られている	5	6	1		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	3	1	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束をしないように勉強会で学んだことで、わからないことは聞くようにしている。 ・個人情報には十分に配慮している。法令遵守はできている。 ・虐待身体拘束や事故など、毎月0を目指して、勉強会を行っている ・虐待はない。プライバシーが守られるように、気をつけて介助にあたっている。 ・できるかぎり、ご利用者に痛い辛い嫌なことをさせないように心がけて行動している ・定期的に研修を行い、虐待について意識している。 ・人権研修や不適切ケア防止の研修を受け、身体拘束も虐待も行われていない。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者情報の共有においては、プライバシーへの配慮が十分でない場面があり、環境整備が課題となっている。また、成年後見制度や金銭管理に関する知識不足から、必要な支援の判断が難しいケースもある。情報管理では、書類の定位置管理や記録忘れが生じることがあり、意識向上が求められている。利用者の話題が聞こえる場所で会話してしまうなど、配慮が不十分となる場面もある。後見制度の運用には課題も多く、適切な連携方法を検討していく必要がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、日常生活の支援を通じて、ご利用者の生活実態を把握し、ご利用者の生活状況の変化があった場合は成年後見制度の活用の有無を検討する。虐待身体拘束について、事業所内で発生しないようにスタッフ一同取り組んでいく。事業所内でご利用中の方にスタッフ間の話が聞こえないように場所や声量に注意する。	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	4		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>1. 雰囲気や周りの環境は良いが、道中が大変（坂）</p> <p>2. はい</p> <p>3. ない</p> <p>4. 普通に開いている</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>感染対策を継続しつつ、ご利用者と共に、季節折々の作品作りや飾り付け・プランターでの栽培を行い、引き続き季節感が味わえるようにする。環境整備を継続し、居心地のいい空間を作る。</p>
<p>【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】</p> <p>玄関の中が季節折々の工夫をされており、毎回来るたびに雰囲気です</p>

【今回の改善計画】

引き続き、ご利用者と共に、季節折々の作品作りや飾り付け・プランターでの栽培を行い、季節感が味わえるようにする。環境整備を継続し、居心地のいい空間を作る。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	職員はあいさつできていますか？	4		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

1. はい
2. 地域の関係者に認知されているが、一般人の方はまだ認知は乏しい
3. はい
4. はい

【前回の改善計画】

地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。昨年度取り組んだ創作作品の出展活動や雑巾の寄付活動を継続すると共に、世代間交流ができる機会を作る。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

なづな喫茶を定期的開催
平安養育院へ雑巾寄付

【改善計画】

引き続き、地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。創作作品の出展活動や雑巾の寄付活動を継続すると共に、世代間交流に取り組んでいく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？		1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

1. 運動会やふくし祭りへ参加
2. 各会議に参加している
3. はい
4. 関わっていない

【前回の改善計画】

地域の社会資源を活用し、ご利用者のケースにあたる。ドライブや買い物、地域行事への参加など、外出の機会を設ける。引き続き、ご利用者と共に、創作作品を作成し、他事業所へ展示活動を行う。ご利用者と共に、雑巾を作成し、他事業所への寄付活動を行う。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

修道カフェを利用されてはいかがでしょう。
ボランティアを受け入れてはどうでしょう。

【改善計画】

ドライブや買い物などの外出の機会を設ける。ご利用者と共に、創作作品を作成し、他事業所へ展示活動を行う。ご利用者と共に、雑巾を作成し、他事業所への寄付活動を行う

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

1. はい 写真があってわかりやすい
2. 行われている
3. はい
4. はい

【前回の改善計画】

運営推進会議を通じて、困難ケースへの取り組みや地域の活動状況・ニーズを把握し、活動参加を通じて、地域へ貢献する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

地域住民や包括支援センター等との顔の見える関係性ができている
 こちらの運営推進会議は話しやすく、相談しやすい。
 他の小規模は各学区の社協会長や町内会長参加されている
 居宅のケアマネも参加している

【改善計画】

運営推進会議を通じて、困難ケースへの取り組みや地域の活動状況・ニーズを把握し、活動参加を通じて、地域へ貢献する

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 1.はい
- 2.参加している
- 3.風水害の訓練に参加
- 4.水害がないから、頼りになる

【前回の改善計画】

地域の防災活動に参加すると共に、事業所の防災訓練に地域の方々に参加案内を出す。毎年施設内で行っていた AED 講習会を外部の方にも案内する。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】

地域の防災活動への参加。事業所の防災訓練に地域の方々にも協力を頂く。BCP の訓練を継続する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 端山園	代表者	山内幸雄	法人・ 事業所 の特徴	豊國神社の境内の一角に位置し、自然に囲まれた閑静な環境となっている。「住み慣れた地域で、いつまでも‘ありたい自分’で暮らしていける」ことを目指し日常の支援を行っている。
事業所名	地域密着型ケアセン ターいまくまの	管理者	加賀爪亮多郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援セン ター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の 確認	各テーマの改善計画をもとに、ミーティング等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同取り組んでいく。	事故への防止が取りくめており、昨年に比べて、事故の件数が減少する。ご利用者のバイタルサイン等に配慮しながら、ケアに繋げることができるスタッフが増えている。事業所の特性と地域資源を活用しながら、日常生活が継続できるように柔軟に支援することができている。	利用者ごとに対応を検討し、上手に支援できている。事故があった際には対応方法を振り返り、反省点を次のケアに活かしている。事故への防止をしっかりと取り組まれていると思います。	各テーマの改善計画をもとに、ミーティング等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同取り組んでいく。
B. 事業所の しつらえ・環境	ご利用者と共に、季節折々の作品作りや飾り付け・プランターでの栽培を行い、季節感が味わえるようにする。環境整備を継続し、居心地のいい空間を作る。	事業所内で初めて職員及びご利用者が数名コロナウイルス感染症に罹患することがありましたが、拡大することなく、経過することができました。屋外にはプランターで花壇を作り、事業所内には季節折々の飾りつけをし、季節感を味わえるように取り組みました。	季節の行事やそれに合わせた飾り作りなど、季節感を意識した施設作りに取り組んでいる。ご利用者様と共に季節に応じた作品作りに取り組まれ、飾り付けも工夫がなされていると思います。	ご利用者と共に、季節折々の作品作りや飾り付け・プランターでの栽培を行い、季節感が味わえるようにする。環境整備を継続し、居心地のいい空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。昨年度取り組んだ創作作品の出展活動や雑巾の寄付活動を継続すると共に、世代間交流ができる機会を作る。	昨年同様に、なづなカフェやすこやかカフェなどにご利用者と作成した創作作品を展示しています。小松谷児童館の子供たちが遊びに来てくれています。雑巾の寄付活動では、東山支援学校の他にも、新たに「平安養育院」「むくの木園」「今熊野児童館」に寄付させ	東山支援学校や今熊野児童館など、あらゆる地域資源と交流・連携できている。ご利用者様による創作作品や雑巾などを多様な機関に提供するなど、分野を越えたネットワーク作りに取り組まれている。	引き続き、地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。創作作品の出展活動や雑巾の寄付活動を継続すると共に、世代間交流に取り組んでいく

		て頂きました。		
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	ドライブや買い物などの外出の 機会を設ける。ご利用者と共 に、創作作品を作成し、他事業 所へ展示活動を行う。ご利用者 と共に、雑巾を作成し、他事業 所への寄付活動を行う	ドライブや買い物同行には取り 組めていませんが、屋外への散歩 や修道学区の運動会や修道ふく し祭りに行きました。ご利用者と ともに、雑巾の寄付活動や創作作 品の展示活動にて地域に出向い ています。東山区運営協議会や地 域ケア会議に出席し、地域課題に 取り組んでいます。	雑巾作りを通し、地域に貢献して いる。利用者のやりがいにもつな がっている。地域のイベントに参 加され、ご利用者様も地域の一員 であるという意識の向上が図れ ています。	ドライブや買い物などの外出の 機会を設ける。ご利用者と共 に、創作作品を作成し、他事業 所へ展示活動を行う。ご利用者 と共に、雑巾を作成し、他事業 所への寄付活動を行う
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議を通じて、困難ケー スへの取り組みや地域の活動状 況・ニーズを把握し、活動参加を 通じて、地域へ貢献する。	今回新しく、東山区社会福祉協議 会の4号会員及び京都市民生委員 推薦分会委員に選任されました。 雑巾の寄付先も増えて、地域との つながりを昨年より増やすこと ができています。	運営推進会議を通し、地域に関か れた施設運営に努めている。地域 福祉の推進を共に担い、共生社会 の実現に向けて、地域とのつなが りを深めていただければと思い ます。	運営推進会議を通じて、困難ケー スへの取り組みや地域の活動状 況・ニーズを把握し、活動参加を 通じて、地域へ貢献する
F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災活動への参加。事業 所の防災訓練に地域の方々にも 協力を頂く。BCPの訓練を継続 する。	今年度に備蓄品の消費期限が切 れるため、非常食の活用と新しく 入れ替え行っています。京都市の 補助金を活用し、福祉避難所の開 設時に使用するエアマットと発 電機・空調機を整えることができ ました。災害訓練には、地域の消 防団の方にアドバイスを頂き、取 組んでいます。	備蓄品の管理を適切に行い、非常時 に備えている。地域の防災活動に参 加されるなど、防災意識の高まりを 感じます。	地域の防災活動への参加。事業 所の防災訓練に地域の方々にも 協力を頂く。BCPの訓練を継続 する。

